

「灘消防署庁舎建設工事設計業務」公募型簡易プロポーザルに関する総評

今回のプロポーザルでは、調査表提出者4者から意欲的な提案が寄せられ、二次審査（ヒアリング）での厳正な審査を経て、委託先候補事業者1者を特定しました。

本業務は、築後60年以上が経過した灘消防署について、施設の老朽化が進んでいることに加え、近年整備された他の消防署を比べて機能上の課題があるため、現地で業務を継続しながらの建て替えを行う新灘消防署の設計業務であり、災害の多様化への迅速な対応や消防機能の充実強化を図るとともに、環境や人にやさしい施設を目指しています。

プロポーザルでは、「日常利用動線と緊急出動動線の両立」や「平常時と災害時又は施設改修時における施設機能維持」といった消防署として求められる性能に加え、環境に配慮した「ZEB oriented 相当以上」の省エネルギー性能の確保といった条件について、高低差のある敷地における配置・施設計画への提案を求められました。また、建設コストや工期に配慮した消防機能を損なうことのない仮設・施工計画に対する設計上の配慮や工夫について提案を求められました。

特定された委託先候補事務所からは、平常時（日常利用と緊急出動）と災害時の消防署に求められる建物性能について実現性の高い配置・施設計画が提案されました。また木造上屋のポケットパークといった施設の顔づくりや設備だけに頼ることのない卓越風の活用などのパッシブな環境配慮計画の提案があり、あわせて評価されています。

仮設・施工計画については、敷地の高さや重機の配置を考慮した綿密な工程検討による具体的な工期短縮に関する提案と共に、上部構造を踏まえた免震装置の採択や材料ロスに配慮した計画モジュールの設定など建設コスト削減に向けた具体的な提案が高く評価されました。

課題を理解し、本業務に対する個別の検討が十分なされた的確でバランスの良い提案があり、ヒアリングでの明確な質疑応答により、本業務への十分な理解及び豊富な知識が感じられた点も評価のポイントとなりました。

2024年1月

神戸市建築工事設計監理外注委員会